

結露の放置は絶対にダメ！

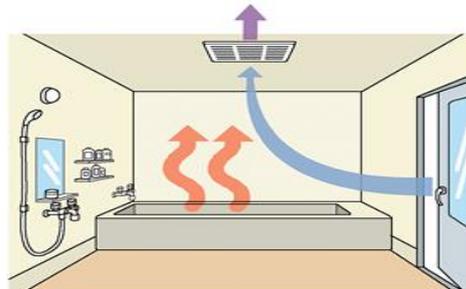
万一、ご入居者様の不注意により結露による事故・カビ等が発生した場合、補修料のご負担をお願いする場合があります。

以下の項目を参考に、快適な暮らしを心がけましょう。

① 浴室の換気扇は止めない！

- ・換気扇は必ず回して下さい。
- ・24 時間換気扇は、常時稼働させて下さい。
- ・浴室のドアは 15cm ほど開けて下さい。

重要 換気扇は 3 か月～半年を目安に清掃してください。



② 窓を開けて換気をしましょう！

- ・室内の空気汚染防止に効果的で、湿気の排出ができ、結露の発生を抑えます。
- ・窓の開放は 1 日 5～6 回、1 回 2 分程度が目安です。

重要 各部屋の換気口は、閉めないでください。



③ 洗濯物も結露の元！ タンス類は壁から離して置きましょう！

- ・洗濯物を居室に干すと、空気中の湿度が高くなります。換気ができる場所で干しましょう。
- ・タンス類を壁につけて置くと、壁面に結露が生じやすくなります。壁から少し離して、空気の通りをよくしましょう。



窓に結露水がついたら・・・

- ・結露水は、こまめにふき取りましょう。
- ・結露によって窓下の壁や床が濡れると、カビが発生します。
- ・結露水が凍りつくと、窓が開閉できない場合があるので、注意しましょう。



結露によるカビが原因で、壁紙の貼り替え等が発生した場合、ご入居者様のご負担になる場合があります。